

「Studio Tanta (スタジオ タンタ)」 音楽スタジオのグッドデザイン賞を受賞
～ 音響性能とグレード感のある意匠性を両立させた建築音響で受賞に貢献 ～

日本音響エンジニアリング株式会社

日本音響エンジニアリング株式会社（本社：東京都墨田区、社長：山梨忠志、資本金：3000万円）は、テレビ・ラジオ局などのスタジオ、劇場・ホール等の建築音響を主な事業とし、国内で多数の実績を上げております。このたび、「2019年度グッドデザイン賞」（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞した音楽スタジオ「Studio Tanta」（次頁参照）では音響設計やスタジオ内装デザインを担当し、以下の通り受賞に貢献いたしました。

Studio Tanta は、「創造のための空間として、時間を超えて普遍性のある空間価値が引き継がれていくように思える建築である」という評価をいただきました。同スタジオは、現代音楽の主流である電子音楽によって生み出されるサウンドではなく、アコースティックな楽器によるリアルな音、語り継がれる音楽をつくりたいという思想がベースになっています。

スタジオ内装は、高い遮音性能はさることながら、「良い音空間」に強く影響する音場のコントロールを当社音響設計の技術力を発揮し、さらに当社が提案した天然素材（当社オリジナルの音響調整機構AGS※）を入念な音響設計に基づき要所要所に配置し、高い音響性能を追求しました。また、当社在籍のデザイナーを起用頂くことで、「良い音楽の生まれる空間」とは、という問いに対する回答をスタジオそのものの部分だけではなく、建築全体で具現化することができました。さらにスタジオは大きな楽器を造るようなイメージで設計。すべての素材が音に影響することを考慮し、下地から仕上げまで随所に無垢材を使用しています（通常不燃性を問われるが、設備の導入により内装制限を緩和）。そして、その素材感を活かし建築全体の空間デザインへ落とし込むことで、よりグレード感のある意匠性を実現いたしました。また、アーティストが打合せや休憩をするラウンジにおいては、音鳴りを抑えた床の構築や吸音を兼ねたペルシャ絨毯の展示など音響性と意匠性を両立し、アーティストが心置きなく過ごせるように工夫しました。

建築音響で培った経験をもとにデザイン分野に関わることで、当社はスタジオや音に関わる様々な空間の設計に新しい可能性を見出してまいります。

※AGSとは・・・低音の抜けの良さと、癖のないナチュラルな響きをもたらすルームチューニング機構です。

-----この件に関するお問い合わせ先-----

日本音響エンジニアリング株式会社

担当：音空間事業本部 河野 企画室 山下

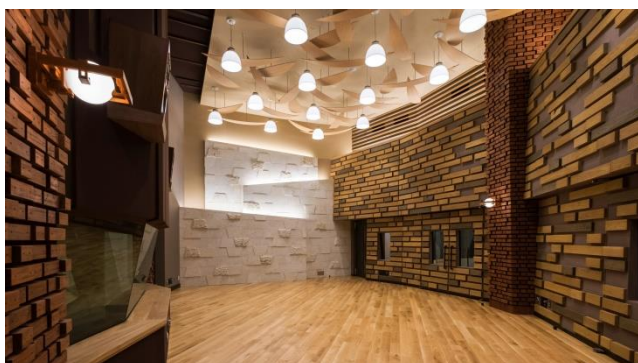
電話：03-3634-3525 FAX：03-3634-5735

E-mail: megumi_kono@hibino.co.jp

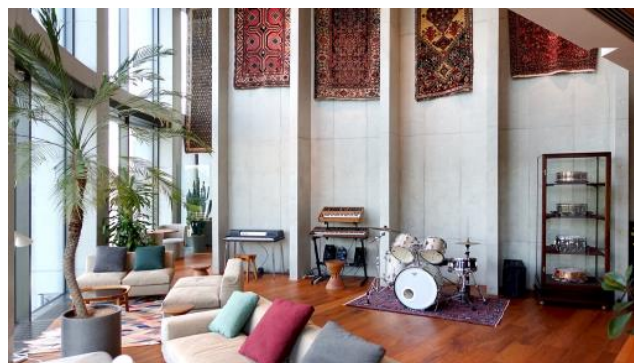
〒130-0021 東京都墨田区緑 1-21-10

2019 年度グッドデザイン賞 受賞作品について

受賞対象名	音楽スタジオ [Studio Tanta (スタジオ タンタ)]
事業主体名株式会社	Studio Tanta
分類	産業のための建築・空間
受賞企業	株式会社 Studio Tanta (東京都) 大成建設株式会社 (東京都) 日本音響エンジニアリング株式会社 (東京都)
受賞番号	19G141099



Studio-A



5F Lounge

-----この件に関するお問い合わせ先-----

日本音響エンジニアリング株式会社

担当：音空間事業本部 河野 企画室 山下

電話：03-3634-3525 FAX：03-3634-5735

E-mail: megumi_kono@hibino.co.jp

〒130-0021 東京都墨田区緑 1-21-10